社会学文章表現研究Ⅱ

科目ナンバリング　SOC-302
選択　　2単位

中谷　直司

1. 授業の概要（ねらい）

*本授業が対面授業となった場合でも、事情があって遠隔での受講を希望する場合は、LMS上に記載のメールアドレスから連絡を下さい（9月初めに頃に掲載予定；対応方法に関しての簡単な説明も載せておきます）。
**視覚障害などの身体障害は当然ですが、識字障害などで読解や文章執筆に不安や問題を抱えている場合も、上記の方法で相談して下さい（メールを送るのが難しい場合は、教務Gを通じて連絡を下さい）。相談の上、課題の内容を調整します。
***第1回の授業には「その他履修上の注意事項」の（1）に従って参加のこと。

【概要】
　教員のファシリテーション（手助け、援助、励まし）の下、一学期で社会科学系（社会学、政治学、経済学など）の新書を2冊読んで、それぞれA4で2枚程度の書評（導入・要約・考察からなる3部構成のブックレポート）を書く。新書とは、中公新書、岩波新書、講談社現代新書など、各学問分野の入口となる書籍を指すジャンル名である。

【こんな人におすすめ】
①文章を書くのが苦手⇒同じような他の受講生とのグループワークを通じて、無理なく苦手が克服できます！
②文章を書くのが好きで、もっと上手くなりたい⇒発表に対する他の受講生によるコメントや、担当者による講評・添削を通じて、自分の長所を客観視して、さらに伸ばせます！（短所も克服を超えて長所になるかも！）
③そもそも文章（本）を読むのが苦手⇒数回に分けて読書メモを作成しながら準備するので、段階的に課題文献を読み進めながら、読書に対する苦手意識を克服できます！
④文章（本）を読むのがとにかく好き⇒好きなことをしながら、社会学をはじめとした社会科学に関する知識・考え方と、文章力を向上させられます！
⑤前期に社会学文章表現Iをとった⇒文章力向上の近道は、明確なテーマと目的を持ち、それだけで完結する文章をできるだけたくさん執筆することです。前期も履修しているなら計4本のブックレポートを書くことになり、文章力は飛躍的に向上します！
⑥卒研・卒論が不安：ブックレポートの作成を通じて、執筆に必要な文章力はもちろん、どんな研究にとっても基本の枠組となる「先行研究・問題の分析・分析結果の考察」を自然と理解できます！
*つまり全員におすすめ！

*クラス規模は10名程度を想定しているが大きく上回った場合、下回った場合は、授業の内容を一部調整する。

2. 授業の到達目標

（1）学術的な論文の基本ルールを理解する。
（2）（1）を踏まえて、自身の専門分野の具体的な執筆ルールを自ら調べて、論文・レポートの執筆に反映できる。
（2）書評（ブックレポート）の執筆を通じて、「先行研究・問題の分析・分析結果の考察」の3部を基本とする学術論文の執筆に向けた基礎的な枠組を理解する。
（4）他者が書いた学術的な文章（本クラスの場合はブックレポート）の技術的な改善点を具体的に指摘できる。
（5）他者が書いた学術的な文章（本クラスの場合はブックレポート）の趣旨を理解した上で、その内容について学術的に議論できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加（反転授業での演習；書評の発表とディスカッション）と課題（読書メモ、書評）の提出50%、提出物の内容50%を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
戸田山和久　『新版　論文の教室――レポートから卒論まで』　NHKブックス

5. 準備学修の内容

（1）第1回の授業でお勧めの書籍（マンガや絵本、ガイドブックなど冊子であればなんでも可）を一人4分で紹介してもらいます。紹介する書籍を必ず持ってきて下さい（前期履修者は別の本を）。やり方については「知的書評合戦ビブリオバトル」HP内の公式ルール（www.bibliobattle.jp/koushiki-ruru）を参照。
（2）第2回～3回の授業の前に、教科書の指定箇所を読み、簡単な読書メモとしてまとめてくる（A4で1～2枚）
（3）課題文献2冊を読みすすめ、それぞれ書評（ブックレポート）としてまとめる（卒業論文執筆中のものは、2つのブックレポートを卒論の一部草稿や要約に変更可）。
（4）前半・後半ともに、発表会での評価・ディスカッションを踏まえて、最終稿を仕上げる。

6. その他履修上の注意事項

（1）初回までに教科書の戸田山『新版　論文の教室』（2014）を入手する。
（2）受講生の数や授業の進度にあわせて、内容を一部調整する場合がある。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション――進め方の説明；教科書の説明
【第2回】　教科書を用いた演習1――論文とは何か；第1回ブックレポートの希望文献の報告と決定
【第3回】　教科書を用いた演習2――論文を準備する
【第4回】　教科書を用いた演習3――；論文を書いて直す
【第5回】　インターミッション1――参考文献表の書き方；要約の仕方；自己紹介
【第6回】　読み合わせと書評の作成1
【第7回】　読み合わせと書評の作成2
【第8回】　書評初稿の班内査読
【第9回】　書評第二稿の班外査読

【第10回】　インターミッション2――第1回発表のフィードバックと授業改善のグループワーク
【第11回】　第1回ブックレポートの希望文献の報告と決定；参考文献表の書き方
【第12回】　読み合わせと書評の作成1
【第13回】　読み合わせと書評の作成2
【第14回】　書評初稿の班内査読
【第15回】　書評第二稿の班外査読